LET'S PLAY
Indiaca
www.japan-indiaca.com

No.43 2020.12

〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町2－20－7
水道橋西口会館内
TEL:03-3512-2801
FAX:03-3512-2802
E-mail:JIA@japan-indiaca.com

発行責任者：「一般社団法人　日本インディアカ協会　事業委員会」

Japan Indiaca Association ● 一般社団法人 日本インディアカ協会

☆☆☆全国のインディアカ愛好者の皆様へ☆☆☆



皆さんお元気で活動されていますでしょうか。

２０２０年のインディアカ活動のスタートは新型コロナウイルスの感染により、出鼻をくじかれてしまいました。春を迎えるとともにこのウイルスは想像を絶する勢いで全世界に蔓延し、数多くの尊い生命を奪い、不自由な日常生活を強いられ、生きるための仕事や人間が創り上げてきた素晴らしい文化や芸術、スポーツ活動までもが、自粛しなければならないという事態に追い込まれてしまいました。

２０２０年度に計画しておりました「2020 Japan Friendship Indiaca League Match」「第16回All Japan Indiaca Tournament」「第15回全日本シニアインディアカ大会」「第43回全国インディアカ大会」さらに「全国６ブロック大会」はすべて中止という最悪の結果になってしまいました。上記全国レベルの大会中止は、日頃の練習を活性化させ、大会で出会える全国の仲間との交流を期待するとともに、去年できなかった優勝を夢見たり、前回よりも少しでも上位の成績をとりたいという願いも打ち消してしまうことになってしまいました。

従って、インディアカ愛好者が、インディアカ活動を自粛しなければならないという、日本のインディアカ界全体が初めて体験する大きな試練の２０２０年になってしまいました。

しかし、皆さん！

皆さんの持っている“インディアカ”への情熱を今こそ発揮するときです。

皆さんの英知を結集し、クラブ、所属協会の仲間、大会で親しくなった仲間お互いに連絡を取り合い、練習の方法、大会の開催の方法など情報交換をしていただき、”With Corona”のインディアカ活動を模索しようではありませんか。

そして笑顔と笑いにあふれた楽しいインディアカを創りましょう。

一般社団法人　日本インディアカ協会
会　長　　押塚　登貴夫

☆☆☆会員向け新しいインターネットサービスのご案内☆☆☆

このたび、公益財団法人日本レクリエーション協会より、インターネットを介した大会参加申し込みや会員交流に役立つ情報サービスが提供されることとなりました。

JIAは、会員の皆様の豊かなインディアカライフをサポートする目的で、来年度よりこのサービスの利用を開始いたします。

まずは、埼玉県、千葉県協会の大会申し込みサービスから利用予定です。その後、順次エリアやサービスを充実させてまいります。

<主な特徴>

- インターネットで大会検索、参加申し込みができます。
- 支払いもクレジットやコンビニで行えます。
- チーム登録で、メンバーの申しこみも簡単にできます。
- インディアカ以外のスポーツ・レクリエーション情報も確認できます。
- 最新の情報セキュリティに対応しています。

ご利用は下記サイトからアクセスできます（2021年4月オープン予定）kenko.sportscom.jp
また、FAXなど、従来での申し込み方法も引き続きご利用いただけます。
インターネットに不慣れな方もご安心ください。

各都道府県からのトピックス

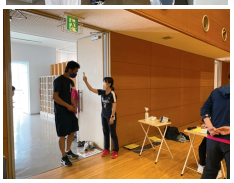
千葉県インディアカ協会

☆千葉県インディアカ協会では、2021年1月からの大会開催を視野に置き、2020.10.4県協会専門委員会メンバーによるコロナ禍における大会運営の在り方について作成したガイドラインに基づき、検証し参加者メンバー全員で改善点を洗い出し、ガイドラインを向上させた。



①体育館入館前のアルコール除菌

体育館入館前に、ソーシャルディスタンスを取りながら、大会参加者全員がアルコール除菌を行う。



②体育館入館前の検温

アリーナ入館前に、参加者全員が検温を実施し37.5℃以下である事を確認。体温が高い参加者別の場所で再度検温し、異常がなければ参加。



③チーム代表者による受付

チーム代表者は、メンバー全員の体温測定状況を把握し、大会本部席へ受付表を提示するため整列。この時点でもソーシャルディスタンスを意識し、間隔を空け受付を実施。



④チーム代表者による受付時のチームメンバー全体の体温測定結果を提出

チーム代表者は、メンバー全員の体温測定状況を把握し、大会本部席へ受付表を提示。



⑤試合前後の整列状況

試合前後でのチーム挨拶もソーシャルディスタンスを意識し、整列する。主審・副審はコートを挟み、線審はそれぞれのポジショニングで整列。



⑥試合開始前後のアルコール除菌

試合前後での審判団による、電子ホイッスル、フラッグ等のアルコール除菌を徹底。
除菌は次の試合の審判団が対応



⑦試合開始前後のアルコール除菌

試合前後での審判団による、ポール、ネット等のアルコール除菌の徹底。
除菌は次の試合の審判団が対応



⑧試合中の得点板の扱い

得点板の扱いでは、ビニール手袋での捲り方で実施した。得点板により扱い方は変動

主審は、フェイスガードを付けたパターン＆従来のホイッスルの両パターンも検証しました。

福島県インディアカ協会

☆2020.7.19 第34回福島県インディアカ大会を無事に開催することができました。

コロナ禍での大会開催にあたり、福島県協会では「感染症拡大予防ガイドライン」を作成し、大会開催時には、多くの遵守事項に主催者・参加者が協力をしました。選手・役員、全員から連絡先の記載のある健康状態のチェックリストの提出、プレー中以外は全員マスク着用と同時に熱中症対策と、ご面倒をおかけしましたが、無事に大会を終えることができましたこと、参加された皆様のご協力のおかげと感謝し、大変思い出に残る大会となりました。





新潟県インディアカ協会

☆新しい生活様式を踏まえたインディアカ大会の運営方法について（ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ制定）

新型コロナウイルス感染防止のため、新しい生活様式や日本スポーツ協会の指針を参考に、大会における運営方法のガイドラインを新潟県インディアカ協会で独自に定めるもの。運用は当面の間とし、コロナウイルスが終息し以前の生活に戻ったと認められた場合は従来の姿に戻すこともある。今後日本インディアカ協会において統一したガイドラインが示された場合などはそちらを優先する。

なお、県外の大会ではその主催者の判断・指示に従うもの。

1．朝、検温して発熱や体調不良の方は入館しない。このことによって選手数が４人となっても成績は認める。ただし、参加申込の段階で不参加がわかっていたにも関わらず、当日体調不良だとして欠席することは絶対にあってはならない。そのようなことがないように各クラブは選手育成に努め、十分な人数で大会参加を心掛ける。

2．感染者が確認された時の濃厚接触者把握のため、チーム代表者は参加者を把握しておく。

３項番～１４項番については、紙面の関係上、割愛させて頂きましたが、内容的にはガイドラインでのマスク着用の義務化、消毒液の持参、手洗い励行、密を避ける観点での代表者会議の廃止、開会式前の密集練習の廃止、握手の禁止、ハイタッチ・大声での掛け声禁止、補足説明では、電子ホイッスルの使用etc　記載されています。

15．大会参加にあたり、新しい生活様式の実践及び主催者や施設管理者、関係機関が指示する事項に従う。

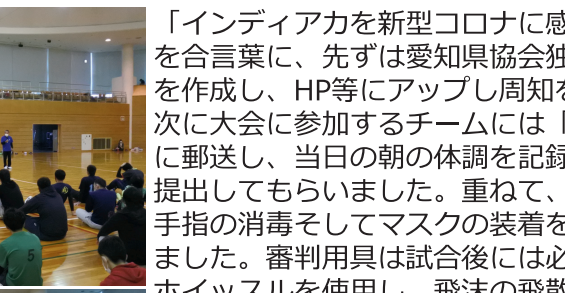
16．各地域でもこのガイドラインに準じて大会運営を行う。

令和２年６月　　新潟県インディアカ協会

愛知県インディアカ協会

☆「withコロナの愛知県インディアカ協会」

ガイドラインイメージ⇒


愛知県インディアカ協会事業に参加する人達へ

インディアカに新型コロナを感染させてはなりません。ましてや愛知県協会の会員が、新型コロナに感染することがあってはなりません。

その為に私たちは、新型コロナの特性を知り、徹底して感染予防策をとる予定です。そのことを理解して、事業の開催・運営にご協力をお願いします。コロナウィルスとの戦いはまだまだ続くと思います。でも私たちはインディアカを楽しみ続けながら、必ずコロナに打ち勝ちます。

以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を辞退して下さい

- □ 朝の検温で37度以上の発熱がある場合
- □ 過去2週間以内に、発熱や感冒症状で受診したり服薬等した場合
- □ 過去2週間以内に、同様の症状のある人と接触歴がある場合
- □ 咳、全身倦怠感、味覚・嗅覚障害、頭痛、吐気・嘔吐などがある場合
- □ 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察機関が必要とされている国・地域等への渡航、並びに、当該国・地域の在住者と濃厚接触がある場合

会場入り口では以下の事項を遵守して下さい

- □ 会場に到着された時は、マスクを装着しておいてください
- □ 入り口で検温をしますので、来館者全ての方のご協力をお願いします
- □ 検温時入り口に並ばれる場合は、最低でも1m以上の間隔をあけてください
- □ 37.5度以上の発熱が感知された場合、速やかにお帰り願います

利用施設内では

- □ プレー中を除きマスクは必ず装着しておいて下さい
- □ 三つの密を意識して、扉を開放して換気に努め、周囲の人との距離を保ち、近距離での会話や発声は控えてください
- □ ゲームで共用する線審旗や審判台は、使用前後必ず除菌してください
- □ 使用するインディアカボールは、セット間などに除菌に努めてください
- □ 審判用具（電子ホイッスル・線審旗等）使用後は必ず除菌して下さい
- □ プレー中のハイタッチ等の接触は禁止します
- □ タオルや飲料水の共用はしないでください
- □ トイレ利用後や食事の前後などは丁寧な手洗いを心掛けて下さい
- □ 食事は定められた場所で、周囲との距離はとって行ってください

施設利用後は

- □ ごみなどは必ず持ち帰り、使用した椅子などは除菌して退出してください
- □ 帰宅されたら速やかに、入浴するかシャワーを使って身体を清潔にしてください



「インディアカを新型コロナに感染させてはならない」を合言葉に、先ずは愛知県協会独自の「ガイドライン」を作成し、HP等にアップし周知を図りました。
次に大会に参加するチームには「健康調査票」を事前に郵送し、当日の朝の体調を記録してもらい、受付時に提出してもらいました。重ねて、参加者全てに検温・手指の消毒そしてマスクの装着を確認して入館を許可しました。審判用具は試合後には必ず除菌し、笛も電子ホイッスルを使用し、飛沫の飛散を防ぎました。
ゲームに飢えている参加者は、驚くほど素直に要請に応えてくれ、楽しい大会になりました。





6月から使用できる会場で開催した大会、研修会での感染者の発生はなく、改めて会員の意識の高さと協力に感謝しています。

愛知県インディアカ協会
理事長　横谷　哲男

兵庫県インディアカ協会

☆コロナ禍の活動状況について

生涯スポーツとしてのインディアカですので、コロナ禍では慎重な対応が必要との意見が多くありました。
兵庫県及び近隣の府県においても感染者が多く発生しており、県協会主催の3大会のうち2大会は中止としました。
　あと1回は2021年3月末に予定していますが、現時点では全国的に感染者が増加しているため、状況を注視して決めていくことにしています。
「安心・安全」のもと会員揃っての大会開催を少しでも早く実施できることを希望しています。

兵庫県インディアカ協会　　理事長　八木伸任

広島県インディアカ協会

☆第23回中国・四国ブロックインディアカ大会の中止について

ブロック協議会より、2月10日に各県協会事務局宛に、ブロック大会の開催要項（4月30日締切り、7月12日開催、広島県廿日市市スポーツセンター）を配布しました。
3月頃より、新型コロナの第1波が蔓延し、4月7日には政府から「緊急事態宣言」が発令され、広島県知事からも「行動自粛要請」も出され、屋内体育館が使用禁止となり、平素の活動が停止しました。
4月中頃になると、各県協会から練習も出来ていないし、人数も集まらない状態で、開催出来るのかとの問い合わせが相次ぎました。
ブロック協議会に於いて、協議を重ね5月3日に今年度の大会中止を決定しました。
全国トーナメント大会も延期、中止となりましたので、2020年度のトーナメント大会に参加資格チームは、来年度の大会への参加資格を与え、ブロック大会も順延としました。

中四国ブロック協議会　代表　橋本　邦男

沖縄県インディアカ協会

☆コロナ禍の活動状況について

新型コロナウイルスの影響により、沖縄県インディアカ協会主催の大会が（令和2年3月、11月）中止になりました。また、那覇大会、浦添市大会も同様の理由で中止となりました。
　高齢者のコロナ感染者が増加傾向にあり又、市中感染が収まらず誰がコロナに罹ってもおかしくない状況が続いています。沖縄県は「第3波」の様相を見せる中「警戒レベル４」に上がった。当協会は令和2年12月に開催予定の「沖縄県スポーツレクリエーション祭・県インディアカ大会」のガイドラインを作成して、実施できるよう祈念しています。

沖縄県インディアカ協会事務局長　比嘉　彦史

今回の会報発行に当たり、JIA始め、各県協会でも大会開催が出来ない状況が多い中、従来の大会結果や写真が掲載出来ない状況となった事から、各都道府県トピックスが中心の会報となりました。コロナ禍の中でもそれぞれの組織が模索しながらガイドラインを作成し、インディアカ大会を実践するために取り組んで頂いている状況が良く伺えます。これからもコロナに負けず、インディアカを発展させましょう！

☆☆☆インディアカ中における眼球運動☆☆☆

皆さんはプレー中に何処を見ていますか？インディアカボール、チームメート、相手チーム、審判、それともコートサイドの監督でしょうか？ボールに対して体の正面でレシーブする事が正しいフォームと言われています。しかし、試合中では全て教科書通りとはいかない事も多々あるでしょう。それでは、審判として審判台に上った際にはどうでしょうか。試合をコントロールする主審はコート上だけでなく、周辺にも視線を配る必要があります。2020年1月19日（日）に（一社）日本インディアカ協会と東海大学情報通信学部山田研究室の共催，そして東京都インディアカ協会より石井さん、大田区の有志の皆様にご協力頂き，インディアカ中における眼球運動の測定を東海大学 高輪キャンパスのアリーナで実施しました。

まずは、選手の視線から紹介しましょう。図１はサーバーの視線です。①サーブ前はボールを注視し、②で打点を注視しながらサーブを打っています。③ボールは放物線の頂点に向かって打ち上げられている途中であり、サーバーはボールの軌道を追従するように視線が動いていることが分かります。④はボールが放物線の頂点にあり，選手はボールを注視し続けている所です。

⑤はボールが落下しているタイミングであり，選手はボールが落下するより先にボールを打ち返してくると予測される選手に視線が先行して移っていることが分かります。

⑥は、相手選手がボールを打ち返そうとしているタイミングであり、打ち返そうとしている選手を注視しています。

続いて，審判の視線です。図２は審判から見て右側のチームがサーブからゲームを始めようとしている場面です。

①はサーバーがシャトルを持っているシーンであり、審判はサーバーを注視しています。②でサーブを打った直後から，シャトルをなぞるように視線が動いています。

頂点より少し前の③までボールを注視しているが、④から視線が先行してレシーバーの選手に移っており、⑤では完全にレシーバーを捉えています。

⑥では選手がレシーブする時まで視線が停留しているのがわかります。

アタックのシーンでは，審判ならではの視線を計測する事が出来ています。アタック時の審判視線が図３です。

まず、①では手前にいるセッターから逆サイドのアタッカーにトスを上げようとしています。

この時点での審判の視線はボールを受けるセッターではなく、アタッカーである。これは，誰がアタックを打つのかを確認するためです。

その後、②ではトスをなぞるように視線が動き、

③はボールが放物線の頂点に差し掛かっている場面です。審判の視線はボールを先行して、ブロッカーにあります。

④では，アタッカーはアタックを打つ体勢に入っており、審判はブロッカーがタッチネットの確認するためにネット付近を注視している事が分かります。

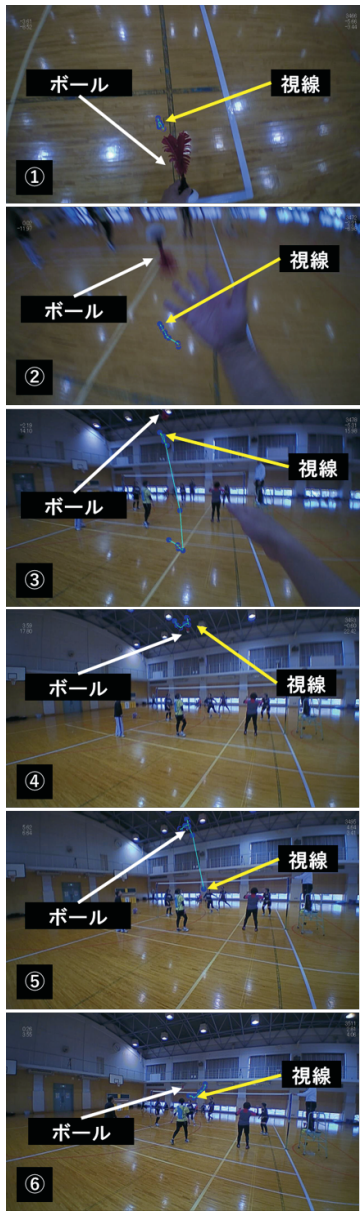
このように，**インディアカでは選手も審判もゲーム展開の予測が重要です。ボールを目で追わず、ボールを先行した視線が求められ、ボールが放物線の頂点に達する短い時間で様々な情報を吸収・整理し、その場面に対応した個々の判断が必要になります**。集中力が途切れると、ミスを連発してしまう選手は少なくありません。

それは目と頭、そして体を含めた協応動作が取れなくなったことを表しているのではないでしょうか。集中力を維持・取り戻すためにも、タイムアウトや選手間でのコミュニケーションは必須ですね。

最後に今回の眼球運動測定に協力して頂いた、東京都の石井さん、大田区の有志の皆様に厚く御礼申し上げます。

【撮影・解析協力：東海大学情報通信学研究科　猿樂】
【文責　　：　　〃　　猿樂、東海大学准教授　北濱】

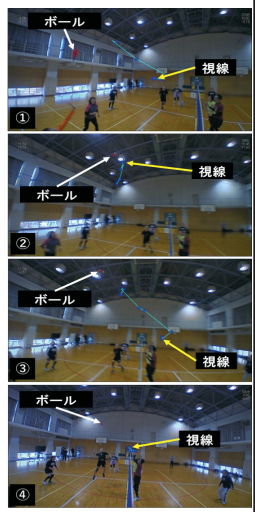
<図１>



<図2>



<図3>



<眼球運動測定に参加して>

プレイヤー：

測定は、水中眼鏡のような器具を装着してから焦点調整、その後はプレー中の動作（制限）を確かめるためにパス練習を行いました。ゲーム中は、コート内でチームメートとの距離を確認しながら、ボールを迎え打つ感じです。プレー中は自分のポジションが確認しづらい事もありましたが徐々に慣れて楽しめて出来ました。

審判（主審）：

ゲーム中は、普段とおりを心掛けるも装着器具により視野が若干狭くなるため、プレイヤー、ボール等の確認動作は早めを意識して審判に当たりました。

今後は、各協会における研修会等に東海大学の協力を頂き眼球運動測定を実施されインディアカ動作の確認及び正確な判定が出来る審判団（主審・副審・線審の連携）の育成にもお役立てて頂く事を願います。測定、動作解析を頂きました東海大学の皆様に御礼申し上げます。

東京都インディアカ協会
大田区連盟・有志、石井不士男